

臨床研究

「正期産児の特発性黄疸に対する光線療法施行後の血清総ビリルビン値の推移に関する検討」

について

筑波大学附属病院小児内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

正期産児の特発性黄疸に対する光線療法において、わが国では治療開始の適応を記した基準はありますが、光線療法終了後にどのくらい観察期間をおいて退院するのが望ましいかについては明記されていません。そこで本研究では、光線療法を要した特発性黄疸における血清総ビリルビン値の推移を明らかにし、治療後の適切な退院時期を検証することを目的とします。

② 研究対象者

2010年1月1日から2014年8月31日までに当院で光線療法を受けた新生児

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2019年3月31日まで

④ 研究の方法

筑波大学附属病院の正常新生児室で光線療法を施行された在胎36週以上かつ出生体重2,500g以上で他に合併疾患のない特発性黄疸を対象に、光線療法開始日齢および施行期間、光線療法による血清TB値の低下の程度、光線療法終了時の値を基準とした血清TB値の低下の有無、の各項目を後方視的に検討し、再治療を要さない群で、当院における従来の退院基準より早く退院可能な症例の選別が可能かについて検証します。

⑤ 試料・情報の項目

患者背景：性別、在胎週数、出生体重、Apgarスコア、栄養方法など

治療経過：血清TB値の日齢変化、光線療法導入時期および終了時期など

⑥ 個人情報保護について

取得した情報は、個人が特定されないように匿名化して管理します。

⑦ 試料・情報の第三者への提供について

該当しない

⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：宮園 弥生、所属：筑波大学医学医療系小児科、役職：准教授

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：小児内科 森田篤志

TEL：029-853-5635 FAX：029-853-8819 （平日 9～17 時）

E-mail：amorita-tuk@umin.ac.jp